

2月のほけんだより

令和6年 1月30日
富士わかば保育園

コロナも第10波などといわれていますね。地域では「コロナ」とともに、「溶連菌」や「インフルB」などもみられているようです。そして花粉症も始まっています。

「感染」と「アレルギー」は症状が似ていても全く別もの。それぞれに合わせた対応をお願いします。

花粉症、始まっています

保育園のまわりは自然がいっぱいです！
一定期間症状が続きますので、毎日のケアを
よろしくをお願いします

- 花粉症かな？と思ったら、早めに受診を
しておきましょう
- 「点眼」「点鼻」「肌ケア」等は毎日、
ご家庭で忘れずにしてください。
- 特に目は、日中の症状が強くあらわれる
ので、朝の登園前に必ず点眼しましょう
- 肌荒れは、特に小さい友だちが強くあら
われます。お風呂あがりと、登園前
(顔だけでも!)に保湿しましょう
- 症状が強くて眠れない場合も、
早めに医師に相談
しましょうね



園、家庭で、 ケガが増えています



少しずつ日照時間が長くなってきました。
この時期は毎年、何となくそわそわしたり、
イライラしたり、うっかりしてしまったり
…。大人も子どもも何となく落ち着かない
ようです。

- 園でのけがは、園の「しおり」に則り
対応しています
連絡先など、毎日必ず連絡がつくよう
にご協力をお願いします
- 「顔の傷」「歯を打つ」「頭を打つ」
「ひっかき傷」「転んでひざを打つ」
などが多いです
友だちとのやり取りの中でのケガも
少し増えています
- 「とげ」の場合は、基本的に園で処置
はしていません
出血を伴う場合があるので、ご家庭で
上手に取ってあげてください

環境を整える！

- 部屋をごちゃごちゃさせすぎない！
 - ・ おもちゃを出しすぎない！
 - ・ 「散らかす遊び」になっていませんか？
- 加湿、暖房はほどよく
 - ・ 加湿は、就寝時や風邪の安静時を中心に
整えましょう（活動時は換気を！）
 - ・ 暖房はほどほどに
ある程度は、室内でも衣服で調節
1階の子どもも守りすぎず、肌で「寒い」
ことを感じてみましょう
肌の感覚も、大切な勉強。四季を上手に
感じることも大切です
- 大きな音にならないように！
 - ・ 大きな音には大きな音で応えてしまい
ます。まわりがとても賑やかになって
きたら、まずはおとなから意識して
音（声など）を小さくしてみましょう

- 保育園のまわりで、1月下旬頃からコロ
ナの報告が増えているように感じます
大人の感染も多いようです
感染対策を、引き続きよろしくお願
いします！

※ 現在園では、胃腸炎が1～2名みられて
いますが、特に流行っている風邪はあり
ません

- 毎年この時期は、2階のクラスを中心
に、「唇が切れる」「手荒れ」「あかさ
れ」等が、よく見られます
感染予防で手洗いもこまめにしてい
るため、子どもたちの手は痛々しいほど
荒れていることがあります
ワセリンで十分ですので、
ぜひご家族でケアを
していただけたらと
思います！

